

裁きによる贖い  
ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国  
1954年11月14日

1 ネヴィル兄弟、ありがとうございます。

そのご案内、とてもありがたく、感謝しています。

そして今朝、再びこの場所に立てることを心から嬉しく思っています。

主の働きをまたここから始めることができ、感謝でいっぱいです。

実は私は、このところ少し休暇をいただいております。

これほど長く休みを取ったのは、もう何年ぶりか分からないくらいです。

ですから、今朝このように再び戻ってこられたこと――

そしておそらく、またこれから一年の奉仕の歩みを始められること――を、大変うれしく思っております。

どうか、皆さんも私のためにお祈りください。

この朝の礼拝が終わり次第、私はすぐにケンタッキー州オーエンズボロに向かいます。今夜からそちらでキャンペーン集会が始まる予定です。

そこからは…いつも通りの流れです。

次から次へと導かれるように働きが続いていくことでしょう。

そして私たちは、まず主に心からの感謝を捧げたいと思います。

今回の休暇の中で、主が与えてくださったすばらしい時間に、

私は深く感謝しています。心も体もすっかり休まり、ここ数年で一番調子が良いと感じています。完全にリラックスし、奉仕のこともいったんすべて手放して、心から休むことができました。コロラドでは、こちらの教会の兄弟たちと一緒に狩猟を楽しみましたし、その後はクリスチャン・ビジネスマンの方々に招かれて、オレゴン州のサーモン川沿いで過ごす機会もいただきました。

本当に、心身ともに完全にリフレッシュされ、

今こうして、新たな気持ちで礼拝に帰って来ることができたのです。

2 私は今後、自分の集会スタイルをこれまでとは違った形に変えていこうとしています。

皆さんの多くもご存じのように、そのことは新聞などでも取り上げられました。

私は今まで――

意図していたわけではないのですが――

癒しの奉仕が、救いのメッセージよりも先に来ってしまうような形になることが多々ありました。

その原因はというと、

識別の油注ぎの中で奉仕を終えるとき、私は自分がいつ壇上を降りたかさえ分からなくなるほどの状態になるからです。

そうなる、自分で招きをすること(アルター・コール)ができなくなるのです。

その結果、私ははっきりと気づいたのです――

何千人、何万人という人々が、心に強く迫られていたにもかかわらず、

招きもされず、ただそのまま会場から出て行ってしまっていたのだと。

彼らはその瞬間、確かに罪の意識にとらえられていたのです。

けれども、何の呼びかけもされず、ただそのまま去って行ってしまった——

そのような方々が、私の手からすり抜けてしまっていたのです。

ですから、これからは、主が許してくださる限り、

私自身が招きの言葉を語るようにいたします。

そして、もし癒しの集会を行うときがあるとしても、それは招きの後にします。

なぜなら、私は何よりも「魂の救い」を得たいからです。

神が癒しをなさるという事実を、私は数えきれないほど見てきました。

でも、魂を得ること——これこそが主の御心なのです。

### 3 神の癒し(ディバイン・ヒーリング)は正しいことです。

そのメッセージは正しく、その目的も正しい——

これは聖書にしっかりと書かれていることなのです。

私たちは皆よく知っていますが、

福音を完全に語ろうとするなら、神の癒しを除いて語ることはできません。

それなしには、「全き福音」にはなりません。

さて、今朝皆さんにある記事をご紹介します。

少し前に私の手元に届けられた、今週のCourier新聞に載っていた記事です。

読まれた方はいらっしゃいますか？

——お医者さんについての記事です。

アメリカ医師会(American Medical Association)が、セントルイスから次のように公式発表したのです。

「神が癒し主であることを信じない人間は、

医療に携わる資格は一切ない。」

これはアメリカ医師会、つまり医学界の本部からの発言です。

この記事は今週の新聞で、ガーティー姉妹が私に渡してくれました。

たしか月曜か火曜のものだったと思います。

どなたか新聞を購読されている方がいらっしゃれば、

この記事の部分を切り抜いて私にくださるとありがたいです。

私はそれを自分のスクラップ帳に保存しておきたいのです。

記事にはこう書かれていました：

「信仰と神性を伴わない医学は、実践されるべきではない。」

「神を受け入れず、信じようとしない医者には、

医学を実践する資格がない。」

これは、アメリカにおける最高位の医学権威が述べた言葉です。

4 ええ、結局のところ、みんな同じことを学ぶことになるでしょう。

私たちが最初から知っていたことをね。そう思いませんか？

あの賢い人たち、大きな地位にある人たちも、最終的には、「本当のこと」が何なのかを学ぶようになるのです。でも私たちは……もうずっと前から知っていましたよね？

ええ、知っていました。

主はずっと前に語られました——

「わたしはあなたのすべての病を癒す者である」と。

そして今、医学の世界でさえ——

医療界のトップが「それは正しい」と認めたのです。

私はいつもこう言っています。

「神を信じない人間に、私の腕は治せない。」

それは本当です。

もし骨が折れてしまったとして、

神を信じない医者しかいなかったら、

私は足を引きずってでも、神を信じる医者のもとに行きます。

もし手術を受けなければならないとしても、

私を切るのは、絶対に「神を信じている人間」でなければなりません。

なぜなら——

薬が癒すのではなく、「神が癒してくださる」からです。

そしてね、この記事の内容の素晴らしさときたら……

本当に驚くべきものでした。

この新聞記事のコピーを必ず手元に置いておきたいんです。

実は、私はずっと心の中に願いがありました——

それは、「神の癒し(ディバイン・ヒーリング)」についての注解書を

いつか書いてみたいという思いです。

私の知る限り、世界中のどこにも、

神の癒しに関する体系的な注解書というものは存在していません。

だからいつか私は、

山の中にこもって、必要なだけの時間をかけて、

その注解書を書き上げたいと思っているんです。

それから、それを教育のある誰かに託して、

言葉の表現などを整えてもらい、

出版できたらいいなど考えています。

その本の序文(prefix)として、

この記事はまさにぴったりだと思いませんか？

さて、ガーティー姉妹、この記事はお返しますが、

もし他に必要な人がいないようなら、どうか失くさないでくださいね。

ああ、ありがとう。

ご親切に、本当にありがとうございます。

必ずコピー(フォスタティック・コピー)をとっておきます。

そうすれば、失くすことはありませんからね。

5 実は、他にも皆さんにお見せしたいものがあったのですが……どこかに置いてきてしまって、持ってくるのを忘れてしまいました。それは、数週間前にボンベイ(インド)で手に入れた資料です。ご存知の方もいると思いますが、最近、ボンベイでは大地震が発生しました。

インドのあちこちが大混乱となり、何万人という人々が家を失ったのです。

ところが――

この大惨事が起こる“前”に、

**その地域からすべての鳥や野生動物がいなくなっていたというのです。**

完全に――まったくいなくなってしまったのです。

そして災害がすべて終わった後――

すべての鳥たちがまた戻ってきたというんですよ。

ああ、驚きですね。

神は鳥や動物たちに「避けなさい」と語られた。

鳥たちはその神の警告を聞いて、避けたのです。

ところが――

神の子どもたちは、聞こうともしない。

そうでしょう？

鳥は神の声に従うのに、

人間は聞こうともしない――それが現実です。

地震の前、すべての鳥が完全にその地域から姿を消しました。

結果、一羽たりとも死ぬことはありませんでした。

そして地震や火山活動がすっかり収まった後――

また元通りに鳥たちは戻ってきたのです。

彼らは、この大惨事を完全に逃れたのです。

この出来事は、私たちに一つの大切なことを思い出させてくれます――

ノアの時代、神が鳥たちを箱舟へと導かれたあの出来事。

その同じ神は、今も生きておられるということです。

今もなお、主であられるお方なのです。

6 今、私は何か他のものがあつたと思います。ああ、そうです。ただの発表....ここにいる私たちの牧師、ネヴィル兄弟が主の真の僕として感謝しています。何でもすぐに、彼は.....本物の羊飼いが見守るでしょう。そして、羊に何か問題があれば、彼は警戒しているのではないですか？(本物の羊飼いです)しかし、雇い主が逃げて、物事を通り抜けて、羊を殺します。そうじゃないですか？しかし、本物の羊飼いは警戒しています。

私が理解しているように、西バージニア州に端を発する教義、カルトに関して、小さな道が渡され、今週、ここを通して教会の多くのメンバーに送られました。そして、それは何でもありません....友達、それは新しいものでも、古いものでもありません。そして彼らはイエスを否定します—彼の名前はイエスです。そして牧師は、それを見つけるとすぐに私に急いで行き、それについて私に話します。何かしなければならぬことです。

私は言いました。「確かに、イエス・キリストの福音の中で十分に確立された教会はそれよりもよく知っています。ほら。彼らはそれを「ヤハウエ、ヤシュア、ヤハウエ」と呼んでいます。

7 さて、たまにここに来る親愛なるライアン兄弟、彼もそれに混乱しています。そして、かつて私たちと一緒にここにいたラーソン夫人、彼女もそれに夢中になっていて、彼らのグループ全体を始めました。

さて、クリスチャンの友の皆さん、「ヨシュア」という言葉....そして彼らは聖書が誤植されている、誤解されているなどと言っています。聞いてください、その聖書が誤植されていることについて人々が言っていることに注意を払わないでください。これが誤って印刷されている場合は、別のことです。彼らは「これは誤植されています」と言います、あなたの信仰はどこにありますか？これが神の言葉です。これがここでの見えた目です。見てください。そして、私はそれをただ信じています....

さて、の仕事....さて、ここに事実があります。しばらく前にここに来た女性は、これを信じていませんでした。彼の名前はイエスでした。彼女は言った、「彼の名前は『エホバ・ジュニア』であるべきです。」

それで、私は「ご婦人...」と言いました。それが何であるか、友人、それらの心を持っている人々—「主義」への受容—あなたが最初に知っていること、彼らは妄想の精神を得て、立ち去って信じますエラー。そして、彼らはそのような何かの準備ができています。それをしないでください、しっかりしてください。聖書は、「安定し、動かないように」と言っています。「キリストにあふれている」を参照してください。

8 私の人生の中で——

自分の家から誰かを立ち去らせたのは、

あの女性が初めてでした。

私は彼女にこう言ったのです：

「もしあなたが、それ(神を否定するようなこと)以外の話をする気がないなら、

ここには来ないでください。

なぜなら——

私はイエス・キリストを神の御子と信じているからです。

私の信仰の土台は、そのことの上に置かれているのです。」

さて、ちょっと言葉のことを少しだけ説明させてください。

あとで何かで読まれたりしたときに、混乱しないようにです。

たとえば「ヨシュア(Joshua)」という名前——

正確には「ヨシュアエ(Joshuae)」がより原語に近い人たちです。

そして、こんな言葉を聞いたことがあるでしょうか：

「オガウヴァ(Ogauvah)」

おそらく、ビリーポール(Billy Paul)くらいしか意味を知らないと思います。

では、こういう言葉はご存じですか？

「キータス(Keetas)」

「アバユ・アドンクラ(Abayu Adonkula)」

「ダンカ・シェーン(Danka Sheun)」

……「ダンカ・シェーン」で手を挙げた方が一人、二人いましたね。

では——

「ありがとう(Thank you)」という言葉の意味は皆さんご存じですよ？

はい、今挙げたそれらの言葉は、すべて「ありがとう」と同じ意味なのです。

ただ、それぞれ違う言語で語られただけなんです。

同じように——

「ヨシュアエ(Joshuae)」という名前は、ヘブライ語における「イエス(Jesus)」です。

英語では「Jesus」

ヘブライ語では「Joshuae」や「Yeshua」

どれも、本質的には同じ名前なのです。

ですから——

違うように聞こえても、それは言語の違いであって、

意味するお方は「同じ主イエス・キリスト」なのです。

9 さて、もし誰かがこう言ったとします——

「“イエス”ではなく、“ヘブライ語で呼ばなければならない”と。

そうなる、私たちは聖書のすべてをヘブライ語で語らなければならなくなります。そうでしょうか？それなら、私たち全員がヘブライ語を理解できなければならなくなってしまう。

そして結局、ヘブライ語こそが“国際共通語”でなければならなくなる——

……それがどれほど罪の本質に根差した混乱か、わかりますか？

何の意味もないのです。

ヨシュア(Joshua)」「ヤハウエ(Yahweh)」——

たしかに、これらはヘブライ語で「神」や「救い主」に関わる名前です。

でも、同じ言葉を今の私たちが使うなら、

それは「イエス(Jesus)」と呼ぶのです。

「ヨシュア」=「イエス」もし私が、英語を理解しないヘブライ人に話しかけるなら、「ヨシュアエ(Joshuae)」とか「ヨシュア(Joshua)」と呼ばなければ、

彼には通じないでしょう。

けれども今朝、私が皆さんに向かって「ヨシュア、ヨシュア」と語ったなら、

きっと「何のことだろう？」と疑問に思われるはずです。

だから私は、「イエス(Jesus)」と言うのです。

どちらも同じ意味、同じお方を指しています。

ですから——そのような“言葉のかたち”に惑わされてはいけません。

聖書も言っています——主の再臨が近づくとつれ、こうした混乱が次々と起こってくると。いろいろな教えが立ち上がってきて、本質から人々を引き離そうとするのです。

10 ここで、少し前のことですが、私はそれがこのどこかで、創世記からこれらの霊がどのようにして創世記から始まり、そして彼らがすぐに出て行くかを示したと信じています。そして今日、世界中のすべてのカルトは創世記から始まりました—初めに。そうです。それらのすべて。バビロンが始まり、さまざまな「人」など、すべてがそこから始まりました。そして、それらすべての異なる神々など、彼らは木の根などを崇拝し始めました。それらのものはすぐに分岐しました。そして、彼らがしたこと、その性質を見てください。もしあなたがそれを歴史的な方法で研究するならば、彼らがそこで何をしたか、彼らがどのように崇拝したかを見てください。そして、今日ここでそれを見てください、あなたはそれが別のカルトの下で—キリスト教の下でなど、同じことで偽装しているのをここで見つけます。

11 ですから、私の親愛なるクリスチャンの友人たち、私がここに欺く者として立つことはないということを覚えておいてください。私はむしろこの山にいたいのですが、真実が何であるかを知っています。

ある男のように、少し前に私(兄弟)に本を手渡したところです。そして、私を裁きで裁く全能の神が、私とその本を取り、それを神の言葉の上に置いたとき、主の天使がしばらく前に私のそばに立って言いました。そこから離れたところです。」そうです。それは正しくありません。そうです、ほら。彼はそれが彼の言葉と関連することさえ望んでいませんでした。さて、それは本当です。神は...私たち全員が裁きで会うとき...注目してください、数分前にネヴィル兄弟が祈りを捧げていたとき、主の天使が私の椅子のすぐそばに立っていて、私にそのことを彼の言葉から取り去らせました。その通りです、見てください。

だから、それはただ...それは正しくないことです。そしてその男は私にそれを読んでもらいました。この教会の兄弟である彼自身が、「それを見てください」と言いました。私はそれを手に取っただけです、それについて私が知っていたのはそれだけです。しかし、聖霊はそれが正しくないことを知っていました。だから、それは正しくありません。だから、私たちはただ...ここに神の言葉があります。これ以外では、私たちはただ……私たちの信仰はここに築かれていますね。

12 さて、次の発表は、今週のことを考えると…始めるつもりはなかったと思います。私はあなたに約束したように、ここで数晩ここタバナクルに来ることについて感じようとしていました。そして、おそらく少し後でそれを行うでしょう。

しかし、先日、かわいそうな親愛なる兄弟がライト兄弟のところにやって来て、茂みの中を歩いて、ここからロイ・ロバーソン兄弟と私に向かいました。そして、彼はひどい状態にあり、彼は私が降りてきて、彼のために数晩待つて欲しいと言っていました。彼はそれを8泊発表しました。そして、彼は私たちが最後にいたそのスポーツドームを持っていました...ロジャース兄弟。そして私は彼にそれをしないように言いました。ただ私に2泊させて、それを彼の教会に置いてもらいました。

さて、私は言いました、「まあ、何...? 私は断食も祈りもしていません。」

「ブラナム兄弟、あなたが降りてきて歌を歌うだけなら、それで大丈夫です。」と言いました。

それで、彼は私をととても愛していたので、私は今日の午後彼を助けるために降ります。そして、私のために祈ってください。私は数日長く滞在するかもしれませんが、それはただ...私は2日間発表したばかりなので、主が私に何をしてほしいかを感じています。

そして、私は本当に、友達が、私の兄がそこに50人寝ているのを見て、私の次は46人であることを知っています。私がそうするまで、もう長くはかからないことを知っています。..私が生きているなら、今のやり方を

歩き回る時間はあまりありません。私はそれができない本当の老人になります。そして、私は一度死ぬことになることを望んでいます。私は私の時間の毎分が主イエスのために数えられることを望みます。

そして、誰かが「じゃあ、なんで山に登ったの?」と言いました。

さて、私の兄、私がそこに上がらなかつたら、私は遠くに行く前に取り締まるのではないかと心配しています。あなたはただ休む必要があります。そして、私は今朝このどこかにいる妻に言いました、降りてきて、私は言いました。「山から出たときの方が、入ったときよりもずっと良いクリスチャンだと信じています。私がそうなるので...人々は聞いて、これ、そして彼らの何人かが来て、「まあ、主はあなたにこれをするように言われました」など。そして、それは私をすべて混乱させます。だから、私が山から出てきたとき、私は休んでいます、私はみんなを愛しています、そしてあなたが知っているように、あなたはただあなた自身を再び通常に戻すだけです。ネヴィル兄弟、そういうことです。

13 さて、私は今、約を乗り切るために最善を尽くします...ああ、はい。日曜学校のクラス...さて、彼らはどこに行きますか、ネビル兄弟? [プロ。ネビルが答えます。]日曜学校のクラス、小さな子供たちとそれらは、建物の後ろに行きます。そして、大人がもう少し近くに移動したいのであれば、なぜ、あなたは喜ぶ以上のものになるでしょう。あなたが今朝ここにあなたの小さな仲間を連れてきたなら、彼らを送りたいのです、なぜ、あなたは彼らをすぐに送り返すだけです。彼らには主イエス以外には何も教えてくれない良い先生が戻ってきたと確信しています。

14 そして今、大人である私たちにとって、始める前に詩篇を読みましょう。やりますか? 聖書の詩篇70(短いもの)に目を向けて、この素晴らしい詩篇から読みましょう。詩篇70:私はたまたまそれに引き返しました。それはちょうど私の前に落ちました、私たちはそれを取ることができると思います。

さて、慣習的に、通常、私たちは立って、最初の節を読みます。そしてあなた、2番目、というように最後まで。その後、みんなで一緒に読みます。さて、この詩篇を読んでいる間、私たちは立ちましょう。最後に、モデルの祈りをします。

...神よ、私を救うために急いでください。主よ、私を助けて急いでください。

私の魂を求めている彼らを恥じて混乱させてください。私の傷を望んでいる彼らを後ろ向きにして混乱させてください。

「ああ、ああ」と言う彼らの恥の報酬のために彼らを引き返させましょう。

あなたを求めるすべての人があなたを喜ばせ、喜ばせてください。そして、あなたの救いを愛するなど、絶えず言わせてください、神を拡大させてください。

すべて一緒に。

しかし、私は貧しくて困窮しています。神よ、私を急いでください。あなたは私の助けであり、私の救い主です。主よ、何の苦勞もしないでください。

この模範的な祈りを一緒に繰り返す間、頭を下げましょう。天国で芸術をする私たちの父は、あなたの御名になりますように。あなたの王国が来ます、あなたは天国のように地上で行われます。この日私たちの毎日のパンをください。そして、私たちが私たちに不法侵入する人々を許すように、私たちの不法侵入を許してください。そして、私たちが誘惑に陥らせるのではなく、悪から救い出してください。あなたは永遠に王国であり、力であり、栄光であるからです。アーメン。

15 どうぞ皆さん、おかけください。

まずお願いですが、どうかお祈りの中で私のことも覚えていてください。

これから、主の御心にかなうように、集会の方向や予定を整えていこうとしています。

完全に、正確に、神の御旨の中で進めていけるようにと。

私は、なぜこれまでの集会が本来の広がりを持たなかったのか――

最近ようやくその理由が見え始めてきました。

それは、私自身が知らなかった事柄に関係していたのです。

さて、今日は短く、でも要点をしっかりと押さえた学びをしたいと思っています。

皆さんの中で、「さまざまな角度から聖書を学ぶことが好きだ」という方はおられますか？

……はい、たくさんいらっしゃいますね。それは素晴らしいことです。

では、ヨハネによる福音書から始めてみましょう。

ちなみに、タバナクル(教会)に来るとき、私はいつも「今日は何を語るか」分からないままここに立っています。

でも、今朝はヨハネによる福音書 第3章14節あたりから読み始めたいと思います。

(私自身も確かめながら聖書を開いているんですよ。)

先ほど、座っている間——

主イエスの恵みと、そのお方がどれほど私たちに良くしてくださったか、

そして今も何をしてくださっているのか——

そんなことを静かに思い巡らしていました。

だから今日は、できるだけ簡潔に、でも的確にお話しできればと思っています。

そしてこのあと、癒しの祈りの時間(ヒーリング・サービス)を持つ予定です。

今朝、特に必要を抱えている方々が何人もおられると聞いています。

中には、はるばる遠くから、癒しを求めて来てくださった方々もいらっしゃるそうです。

主がこれまで、ここに憐れみを注ぎ、私たちを導いてくださったのですから——

その恵みを、皆さんとも分かち合いたいと思います。

16 ではこれから、主の御心が許されるなら、

今日のメッセージの主題をお話ししたいと思います。

実は私自身も、この先どの聖句を使うことになるか、まだ分かりません。

けれども、今朝、このように心に与えられたテーマがあるのです。

それは——「裁きによる贖い(Redemption by Judgment)」

以前、私は次のようなテーマで教えを語ってきました：「あわれみによる贖い(Redemption by Mercy)」

「贖いの犠牲による贖い(Redemption through the Atonement)」

そして、ふと思い出したのがこのテーマでした——

「裁きによっても贖いは成される」それでは、ヨハネによる福音書 第3章の中から読みましょう。だいたい10節あたりから始めたいと思います。ここで語っておられるのは、主イエス・キリストご自身です。

10節：イエスは彼に答えて言われた、

「あなたはイスラエルの教師でありながら、これらのことを知らないのですか？」

11節：まことに、まことに、あなたに言います。

私たちは、自分の知っていることを語り、見たことを証していますが、

あなたがたは、私たちの証しを受け入れません。

12節:わたしが地上のことを話しても、あなたがたは信じません。

それならば、天上のことを話したとして、どうして信じることができるでしょうか？

13節:天から下って来た者、すなわち天にいる人の子のほかには、

天に上った者はいません。

17 さて、私はこの時に教会に質問したいと思います。地上に立っている人の子である彼は、どうしてその時天国にいて、それでもその時に地上にすることができるのでしょうか？「...それは天国にいる人の子です。」そしてここで彼は地上に立っています。

ある時、誰かが私に尋ねて、「ブラナム兄弟、神がキリストの中において、世界をご自身と和解させていると思うなら」と言いました。「神がキリストの中に住んでいたなら、エデンの園で誰に祈っていたのですか？」

私はその女性にこの質問をしました:それから彼がどのように天国にいたかを教えてください、そして同時にここに立ってニコデモと話しているのです、見てください。彼は祈りをするだけでなく、祈りに答えます。彼は彼自身の祈りに答える人です、見てください。今:

そしてモーセが荒野で蛇を持ち上げたとき、それでも人の子を持ち上げなければなりません。

彼を信じる者は誰でも滅びるのではなく、永遠の命を持つべきです。

それが最も美しいことではない場合。

モーセが持ち上げたとき...荒野で真鍮の蛇、...だから人の子も持ち上げられなければなりません:

彼を信じる者は誰でも滅びることなく、永遠の命を持つべきです。

18 私たちが死んだ後、それがどうなるかはまだ私には明らかにされていません。今日まで、私たちが死後にどのような状態になるかを知ることは、人の子らに与えられたとは思いません。多くの人々は、私たちが死ぬとき、私たちは復活から体が戻るまで霊のままであると考えてきました。しかし、そうではありません。聖書は、この地上の幕屋が解散した場合、すでに待っている幕屋があると言っているからです。私たちが行く身体には、精神ではなく、ある種のものがあります。しかし、私たちの精神は体に行きます。

さて、タイプ...類型学者である私たちは、これを信じています。神は父、子、聖霊のように3つで完成されているのです。律法、キリスト教の神権、聖霊の神権、3つすべてが集まり、1つを三位一体の人格にします。

19 さて、それから主の3つの到来があります。主イエスは彼の花嫁を贖うために最初に来られました。彼は彼の花嫁を受け取るために2番目に来ます。彼は彼の花嫁と3番目に来ます、見てください。ほら、彼は次の来るべき時に地球に来ないのです。私たちは空中で彼に会うために追いついたところです。

リベカの美しい物語と、彼女がラクダに乗ってエリエゼルとアイザックに会いに行った経緯をご覧ください。そして、イサクは、アブラハムのすべての品物と彼が持っていたすべての品物の相続人となった、神の子キリストのタイプであり、彼はアブラハムの息子でした。彼は夕方に野外に出て、美しいレベカがラクダにやってくるのを見たとき、野外をさまよっていました。

ああ、私の。それはただ寒気が私を通り抜けさせるだけです。美しいレベカ:彼は彼女に会ったことはなく、彼女が誰であるかを知りませんでした。エリエゼルは彼女を探していました。そして彼は聖霊の証人によって彼女を見つけました。彼は祈りました、そして彼は言いました、「神様、今日私に恩恵を与えてください、私が私の主人のために妻を見つけることができるように」。

そして、レベカがラクダに水をやりに来たとき、それはしるしでした、それから彼女は進んで行き、ラクダに乗って彼に会いに行きました。そして彼は野外に出ていました一父の家から半分離れていました。

20 イエスは、おそらく、このように考えたいのですが、私には言えませんでした。すでに栄光を残し、星々の間を降りてきて、地球に降りてきました。これらの日の1つ、おそらく今日はまだ、彼がまだ見たことがない教会(聖霊がそれを証言したときだけ)、見てください....

そして見てください！レベカがイサクを見たとき、顔を覆い、ラクダから飛び降り、走って彼に会いました。一目惚れでした。

彼がどのようになるかわかりません。彼は大きな人かもしれないし、小さな人かもしれないし、茶色、白、黒かもしれない。彼がどんな色になるのか、どんな髪になるのか、どんな色の目になるのかはわかりませんが、私は彼が大好きです。私は彼がどのように見えるかは気にしません、私は彼を愛しています。はい、先生。そして教会は彼を愛するでしょう。そして、彼は今、彼の道を進んでいると私は信じています、象牙の宮殿を去り、彼の花嫁を受け入れるために降りてきました。

それから私たちは主に会うために空中に巻き込まれます。そうですか？それから、イサクがレベカにしたように、私たちは結婚式に行きます。それから、彼らが結婚式から出てきたとき、彼は所有者でした。そして、イエスがミレニアムの父であるダビデの王位に君臨するために再び花嫁と一緒に来るとき、彼は王と女王として彼女と一緒に来るでしょう。

21 さて、私は同じことが身体にもあると思います。私たちは最初の体を与えられます。それは罪でできた自然で死すべき体です。そして次の体は輝かしい体です：クリスチャンが死んだとき、信者であるある種の体に入ります。それは正確には肉ではありません。私はそれが具体的であるとは言いませんが、それでも、それは本物です。そして、その体は復活の時に、最後に粘土の幕屋を取り上げるために引き返します。それから私たちは永遠に彼に似ています。ああ、それは素晴らしいことです。

見てください。あなたは、「ブラナム兄弟、ほら、あなたが霊なら、それを見ることができなかった」と言います。しかし、それは精神ではありません。

エンドルの魔女がサミュエルの霊を呼んだときを見てください...または、サミュエル、サウルは彼を認識しました。彼は預言者のローブを着たままそこに立っていました。そして、魔女は怖くなり、地面に倒れました。「神々が立ち上がるのが見えます」と言いました。

そして、彼は預言者のローブを着ただけでなく、まだ預言者でした。彼は、「あなたが神の敵になっているのを見て、なぜ私を呼んだのですか？」と言いました。彼は「明日、あなたは私と一緒にいるでしょう」と言いました。彼は倒れるだろう、そして彼は戦いでどのように倒れるだろう、そして彼の息子は倒れるだろうと言った。そしてまさにその通りです。そして彼らは立って彼を認めました。

ええと、あなたは「ブラナム兄弟、私はそれについてあまり確信が持てないでしょう」と言います。

大丈夫です。イエスが変容の山にいて、ここにモーセとエリヤの両方が立っていたときはどうですか？そして、ピーター、ジェームス、ジョンが立って、彼らを見ています。そうです。はい、ここから出るとき、私たちは何かになるでしょう。そうです。私たちは誰か、そして何かになるでしょう。そして、ああ、今日、神の恵み[不明確な言葉]を通して神をそのようなことを知っている私たちがどんなタイプの人々であるべきか。

22 私はこの少し古い虚弱な幕屋、ここでの私たちの屈辱について考えます、そして...それは何ですか？ほんの少しのビタミンやカロリーなどがここに一緒に投入されました。魂が定着するためのほんの小さな場所。それだけです。

しかし、これらの輝かしい日々の1つ、それは変わるでしょう。そして、そこにあるこれは行くでしょう、なぜなら、私は、それが一度にすべてに入ることができなかったからだと思います。それは少しずつそれに入る必要があります。死んだ後でも、そのような体に入っても、それがどうなるかはわかりません。

パウロは言いました。「私たちが最後になることはまだ現れていません。しかし、私たちは彼自身の輝かしい体のような体を持つことを知っています。なぜなら、私たちは彼を彼のように見るからです。」そのようなものになりなさい。「私たちが彼を彼のように見るでしょう。」

23 さて、それを手に入れるのにどれくらいの費用がかかりましたか？私たちは判断を通してそれについて話すつもりです。

さて、振り返ってみましょう...「モーセが真鍮の蛇を持ち上げたとき」と彼は言いました。「荒野で...モーセが真鍮の蛇を持ち上げたのと同じ理由で、人の子も持ち上げなければなりません。」

さて、モーセは複合目的のために真鍮の蛇を持ち上げました。それは彼らが不平を言っていたからでした。そしてもう一つ、彼らは病気でした。そして、それはそこに神の癒しをもたらすでしょう。イスラエルの

子供たちのために....出エジプト記....約21のナンバーズに行き、それがより良いことではないかどうか調べてみましょう。21番です。私は自分のクリップをその上に置いていました、それはたまたま21番でした。

そして、ここで少しの間、イスラエルの子供たちがどのように旅を始め、今日の教会の完璧なタイプであり、栄光の地を通り抜けているかに注目しましょう。私たちが日々、少しずつ進歩していると信じていませんか？ 毎晩新しい場所にキャンプファイヤーを建てますか？ 昨日より少し身近に感じますね。毎晩新しいキャンプファイヤーを建てて、上に移動するだけです。

24 イスラエル、彼らが旅をしている限り、彼らは約束の地に向かっていました。しばらくすると、彼らは神の偉大な力の形で神を受け入れることができなかつたので、つぶやきや不平を言うようになりました。

ああ、幕屋で見知らぬ人など、言い訳をするなら、ここで少し自慢したいと思います。あなたは私たちの一人です。ここでは違いはありません。私たちはここキリストの中でただ一人です。私たちはただお互いを愛しています。

さて、それがどのようにして完全な福音、つまり超自然的なものを支持しようとしたのか。神が彼が特定のことをすると言われたら、彼は創造主であり、私たちはそれを受け入れ、私たちはそれを信じます。神が何かをするとき、私たちは「はい、先生」と言います。そして、私たちは、聖書が改ざんされたり、翻訳されたり、「まあ、それは正確にそれを意味していなかった」と言ったりしてはならないと信じています。今、私たちはそれを信じています、そしてまさにそれが言っていることです。私たちはそれをまったく信じません。次のように言います。「それだけです。私の信仰がそれに到達しない場合、まあ、それは私のせいです。それは神のせいではありません。」

25 さて、彼らの旅のイスラエルの子供たちは、彼らはそれほど遠くに行く必要はありませんでした。もし彼らが続けていたら、彼らは本当に一週間でそれを歩くことができただけでしょう。しかし、彼らの道に入ったのは彼らの不平と不満でした。神は彼らと一緒に働き、約束の地に行ったとき、彼らはすべての部族から1つ、つまり12の部族を取り、そのうちの2つであるヨシュアとカレブが戻ってきてこう言いました。私たちは土地を取ることができます。」しかし、10人が戻ってきてこう言いました。人々があまりにも素晴らしく、彼らの都市がすべて壁に囲まれているため、私たちはそれを行うことができません。そして私たちは彼らの目にはバツタのようです。だから私たちはそれをするにはできません。」

そして、彼らは「カデシュ・バルネア」と呼ばれる場所にいました。カデシュバルネアはかつて世界の裁きの座でした。大きな泉があり、そこからたくさんの小さな泉が続いていました。これもまた完璧なタイプでした。大きな泉であるキリスト。教会、キリストからの小さな泉。審判席。裁きは神の家から始まります。ここが私たちが裁かれるところです。

そして、私たちが間違っていること、間違ったことをしていること、間違った種類の生活をしていること、間違っていることすべてを関連付けていることを知ったとき、私たちが立ち上がって言うのに十分な大きさではないことは残念ではありません、「神様、ごめんなさい。私は間違っています。あなたは正しいです、そして私は間違っています。そして、あなたは私を許し、次回私がより良くするのを手伝ってください。」もし私たちが自分自身についてそれほど本物だったとしても、そうではありません。私たちは福音が説教されているのを聞いて、「ああ、まあ、私はそれをそのように信じさせていません」と言います。

26 私は間違っていないんですが、山に行く前に最後にここにいたとき、許されない罪について説教したと思います。そうですか？ 許されない罪。「善を行うことを知っているが、しないことを知っている人は、罪です。なぜなら、もし私たちが真理の知識を受け取った後に故意に信じないならば、罪のための犠牲はもう残っていないのです。」—ヘブライ人10。私たちが真理を知った後、私たちが何をすべきかを見てください。

そして、私たちはそれをしません。そうすれば、私たちはそれをするまで、神と一緒にこれ以上行くことはできません。神は私たちにこの種の生活をやめるべき何かを提示するだけです。私たちは世界のために生きることをやめ、クリスチャンであると公言するべきです。そして、私たちは同じことを続けます。そうすれば、私たちは神とこれ以上先に進むことができなくなります。それはただ……その場所が私たちに明らかにされたので、私たちはそれが正しくなるまでそこで立ち止まり、それから神と共に続けなければなりません。それは私たちが再び恵みに戻ったときです。

27 さて、イスラエルはカデシュバルネアにやって来ます。そしてここに彼らは戻ってきました、そしてヨシュアとカレブ、彼らは本当に全員が興奮していました。彼らはそこで祈りの集会を持っていたに違いありません、彼らの間である種の本当のリバイバルです。そして彼らが戻ってきたとき、彼らは「はい、私たちはそれを

取ることができます」と言いました。しかし、他の10人は言いました。それはできません。それは私たちにはやりすぎです。」信仰の欠如、見てください。

聞いてください、クリスチャン、すべては信仰に基づいています。そして、それに基づく何かがなければ、信仰は正しくありえません。「まあ、私はそれを信じています...これが私の信念です」と言うような信仰を持つことはできません。それが神の信念に反しているなら、私の信念は良くありません。しかし、私の信念が彼と一致するなら、私は確固たる基盤を得ました。何が起ころうとも、私たちはとにかく行くつもりです」と神がそう言われたからです。さて、それはカレブとヨシユアが持っていたタイプの信仰です。

28 さて、神はモーセが去る前に、子供が生まれる前にアブラハムに、彼と彼の子孫は見知らぬ土地に滞在するが、パレスチナを与えるとされました。彼はそれをアブラハムに約束しました。そして、彼はモーセを訪問し、彼がすでに彼に土地を与えていると彼に話すことによって彼の約束を確認しました。「それを取りに行ってください。」

そして、ヨシユア...ああ、私はここが好きです。ヨシユアは自分が見たものではなく、神が言われたことに基づいて信仰を築きました。巨人がどれほど大きくても、周りにフェンスがいくつあり、どれだけの砲兵がいたとしても、ヨシユアは神の言葉を見ました。それが今日私たちが見たいものです。

あなたは言います、「ああ、私には浮き沈みがたくさんあります、ブラナム兄弟。私の浮き沈みがあつたら」

少し前に、小さな女性がここのある医者を訪ねました。そして、小さな医者は呪いをかけ、飛び跳ねて、続けていました。その女性は彼に言った、「私があなたの代わりにいたら、私はそれをしません、博士」。

彼は言った、「もしあなたが私の心配を持っているなら、なぜ、あなたもそうするでしょう。」

「ああ、私はあなたと同じくらい多くの心配があります、そして私はとにかくそれをしません。」と言いました。

だから、それは医者を正しい場所に連れて行ったのです。そうです。それ以来、彼はそのお嬢さんを尊敬しています。

それだけです。季節のほんの一言でそれができます。あなたの心配事が何であれ、あなたの誘惑が何であれ、神の言葉に立ってください。すべてがうまくいかないように思われるときは、神の言葉に立ってください。彼はそう言った。

29 それから彼らが渡る場所に来たとき、ヨシユアは神が彼らに土地を与えると約束されたことを知っていました、そしてそれは反対が何であつたかに関係なく彼らのものでした。

さて、それは今日の教会の一種であり、キリストの体の真の真のメンバーです。私たちには教会に行く人がたくさんいますが、その教会では、そして実際には...彼らの多く、彼ら全員、私は推測します(私は願っています)、その教会の特定のグループは本当に信じているその教会のメンバーです心を込めて。

私はそうなることを知っています。私はインスピレーションの下で彼らをプラットホームで捕まえました、そして彼らが本当に本物であつたところを見ました。彼らは完全な福音などを理解していないかもしれませんが、それでも彼らは心の中で本物です。彼らが信じていること、彼らは心からそれを本当に信じています。

そして、信仰のないものはすべて罪です。不信仰は絶対に罪です。信仰のものではないものはすべて神のものではありません。あなたは信じなければなりません。そして、あなたが信仰を持つことができる唯一の方法は、最初に神がそれについて言われたことを見て、それから彼の言葉を信じることです。それがあなたがそれをすることができる唯一の方法です。

30 それで、ヨシユアとカレブは神が約束されたことを知っていました。そして彼らは戻ってきて、「私たちはそれを取ることができます」と言うことを恐れませんでした。なぜなら彼らは彼らが見たものではなく、彼らが信じたものに彼らの信仰に基づいていたからです。

さて、今日、この幕屋で、私たちはアメリカ市民としての信仰の基礎を築くことができます...むしろ、医者、科学者、証拠が何であるかに関係なく、神が言われたことに基づいてクリスチャンとしての信仰を築くことができます。

31 ここで、数週間前、私はどこかでラジオ放送を聞いていました...または、いいえ、オレゴンで新聞を読んでいて、それは...または、アイダホで、彼らは賞賛していると言いました一部の科学者は、動物の生命と植物の生命が同じ生命であることを証明しようとしていたからです。さて...動物が植物の生命から、そして植物からどのように生まれたかを言います...言い換えれば、木と魚はすべて同じ人です、見てください。

まあ、それは私の精神が理解できるより少しだけ多いです。私は神が木を作り、魚を作ったと信じています。そして、それは私が行くことができる限りです。そして、私はそれ以外のものを信じています、私はそれを信じていません。それだけです、見てください。それは主の言葉に基づいている必要があります。彼は椰子の木を作り、樫の木を作りました。それらは両方とも同じ木ではありませんでした。もしそうなら、オークの木はココナッツ、ヤシ、またはそれが何であったかを持っていたでしょう、見てください。その中にあるのは人生です。そして、私はただ彼の言葉を信じています。それはどれほど単純に見えるか、そしてそのように信じています。しませんか？

32 さて、私たちは今朝私たちの考えの基礎を置くことができます...祈られるために来る人々がいます。私たちはこれを私たちの考えの基礎にすることができます:神が約束されたこと。もしあなたが今朝ここにいるなら、あなたはこう言うでしょう。「ビル兄弟、私は上下の人生を送ってきました。私はいつもクリスチャン生活を送りたいと思っていました。落ち着くことができませんでした。」

さて、私は私の約束の基礎を置くことができます...これに対する私の信仰、私の兄弟、姉妹、今朝:あなたが今その完全な奉獻をするなら...祭壇に来るのを待たないでください。ここに来て、「私は今それを受け入れました」と言うことができます。しかし、あなたが今いる場所で、「神様、私を憐れんでください、バックスライダー」、または罪人、それが何であれ、言ってください。そして、「私は今、あなたの言葉だけに私の希望を置いています、そして私はそれを信じています。」

それから、兄弟よ、あなたは本当の基盤を持っているので、何かが起こるでしょう。神は今すぐあなたを追い出されるからです。誘惑が来る。彼があなたにそれに耐える恵みを与えない限り、誘惑は決してありません。そして、彼はそこですべての戦場であなたに会い、あなたの代わりに立つことを約束されました。だから、それはあなたの希望があるところです。

あなたはその場所に着き、「まあ、ビル兄弟、私にはたくさんの誘惑があります」と言うでしょう。

誘惑のないクリスチャンを一人教えてください。私たちはピクニックに来ることはありません。私たちは戦場にきました。私たちは敵と戦うためにここにいます。まあ、確かに。見ているだけで鎧を着るわけではありません。あなたが見られるだけでクリスチャンになるなら、あなたは...あなたが間違った場所にいるのではないかと心配しています。

33 クリスチャンは時々見下されたり、からかわれたりします。しかし、私たちは戦士(アーメン)としてやって来て、血をまき散らして来ます。古い頑丈な十字架が私たちの前を通り、モーニングスターが道を照らしています。なぜ私たちはどこかの道を進んでいるのです。世界が何を言っているかは気にしないでください。それは神が言われることです。その分野は私たちのものです。神はそう言われました。私たちは道を進んでいます。ここで戦場にノックアウトされたら.....

この土の幕屋が解散した場合、私たちはすでに向こうで待っている幕屋を手に入れました。怖いものは何もありません。はい、先生。キリストが彼を通してそれをすべて私たちに贖われたので、すべては私たちのものです。そして、彼は私たちを愛してくれました。

そして、神が私たちを神に引き寄せられない限り、私たちは神に来ることができませんでした。彼は言いました、「私の父が最初に彼を引き寄せない限り、だれも私に来ることはできません。そして、そのすべてが来るので、私は永遠の命を与え、最後の日に彼を育てます。」

どんな心配がありますか？ 心配することは何もありません—恐れることは何もありません。

あなたは「誰が大統領になるのですか？」と言います。「うつ病になります。」

それは私には関係ありません。私が知っている唯一のことは、神が私に言われた...彼は私を通り抜けるつもりだと言ったので、私はただ彼の手を取り、彼の言葉を取りました。それで、ここで私たちは約束の地への道を進みます。カデシュバルネアに着くと、神の言葉を信じて先に進みます。そうです。そして、ああ、栄光の部分...時々、彼は私たちに証拠のためにたくさんのブドウを与えてくれます、あなたが知っているよう

に、川の向こうには土地があり、彼らは永遠に甘いと呼んでいます。そうじゃないですか？

それで、生きるか死ぬか、それはどのような違いを生むのでしょうか？ さあ、先に進みましょう。

34 さて、もし私たちが中途半端な人生を送っているなら...覚えておいてください、それは良くありません。今すぐそのことを置いて、こう言いましょう。「神様、今朝、私は来て、あなたの言葉に基づいて信仰を築きます。人生で決して叫ばなくてもかまいません。人生で泣かなくても構わない。どんなデモンストレーションもしなくてもかまいません。私はあなたの言葉に信仰を置いており、約束の地への道を進んでいます。そして、世界が私に言ったので...または、誰かが私に、私が救われたときに変な気持ちがなかったら、またはこのようなことを言ったのです...」

今、私はそれに対して何も悪いことを言っているのではありません。それは大丈夫ですが、そうではありません。アーメン。

私の信仰はそれ以上のものの上に築かれています

イエスの血と義よりも。

私の魂の周りがすべて道を譲るとき、

それから彼は私のすべての希望であり続けます。

「私は神の与えられた道を受け入れたので、今朝クリスチャンになりたいです。彼の言葉はそう言った。私はそれをそのように受け止めました。そして、それで解決しました。そうです。

35 悪魔が来てこう言います。「まあ、私も一度はおかしな気持ちになりました。それで私は救われましたか？」

わかりませんが、兄弟よ、あなたはここでこのみことばに会わなければなりません。イエスは言われた、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者には、永遠の命がある」。ああ、私の。その[不明瞭な言葉]を聞いただけです。彼がそう言うのを聞いたとき、私はそこに立っていたかったのです。しませんか？「わたしの言葉を聞いた者、わたしを遣わした者を信じる者は永遠の命を持っている...非難されることはないが、死から命へと移った。」

私、それがすべてのメソジスト、バプテスト、長老派、ペンテコステ派、そしてすべてをノックアウトしないなら、私は何をするのか分かりません。それはただすべてをノックアウトし、それから「彼」を作ります。そうですか？ そうです。「わたしの言葉を聞く者(彼がなりたいたいものになりましょう。そうです。)、わたしを遣わした方を信じる者には、永遠の命があります。」ああ、私の。

それなら、船を揺さぶってみましょう。古い材木がきしむと、とにかく、それはこれらの日のいずれかを破壊するでしょう。しかし、それが反対側の岸にぶつかるまで、それは大破することはありません。それは可能な限り真実です。神がそれを約束されたので、彼女は何でも同じように確実にそれを成し遂げるつもりです。ああ、私の。

私がそれについて考えるとき、それはただすべての恐怖を取り除き、すべての騒ぎを取り除き、すべての悪意を取り除きます。あなたを虐待したその仲間を再びあなたの兄弟のように見せます。それでは、彼を手に取りましょう。そうです。ああ、私の。彼または彼女は間違ったことをしました、まあ、それはどのような違いをもたらしますか？ 私もやりました。腕をまわして、こう言いましょう。「さあ、兄弟よ、もう少し上に行きましょう。古いものを締めてください....」

36 パウロがここで話したこの「バックラー」の真ん中の部分が好きです。バックラーが主要な部分であることをご存知ですか？ 聖書にはそれについてあまり語られていませんが、それは本当の部分です。バックラーは、ハーネスの破損を一緒に保持するものです。そうですか？ それで、私はヘルメットとこれらすべての異なる部分と胸当てを手に入れました。しかし、それを締めて締めるバックラーを忘れないでください。ああ、私の。次に、座屈してしっかりと握り、もう一度進み、動き始めます。

37 ヨシユアは戻ってきて言いました。神はそう言われました。」カデシュバルネア:彼らが彼らの判断に出会った場所があります。神が彼らを裁かれた場所があります。さて、神の裁きは何でしたか？ 彼らが信じなかったからです。カデシュバルネアはイスラエルの裁きの席でした。彼らは、証拠が何であったかではなく、

みことばを信じなかったからです(参照)。

さて、ここで彼らは荒野にいました(私たちがそれをたくさん読む時間があればいいのですが、まだ読んでいませんでした。)、荒野、そして旅、そして彼らが「これはザクロの場所ではありません。これはブドウやイチジクを飼う場所ではありません。あなたはエジプトから育ちました、そして私たちはそこはかなり良い家を持っていました。そして、ここであなたは私たちを水も食べ物も何もしないでこの荒野で死ぬためにここに連れてきました、そしてあなたは私たちをここに連れてきました。」それらに対するすべての証拠。「ここで...あなたは私たちをこの小さな古い川の脇に連れて行ってくださいました。そこではこれらの泉があり、このオアシスが出てきています。一緒に飲むのにかろうじて十分な水です。」ああ、私の。

それは、不平を言う人が救われたときのやり方ではありませんか？

次に、「ここにいます。食べるものは何ともありません。私たちはザクロを持っていません。そして、私たちが得ている唯一のものは、夜間のほんの少しのマナの雨です。さて、あなたは私たちに、男性が向こうから戻ってきたとき、「ああ、私の。それはすべて無駄になっています。私。」ここで私たちは出てきます...私たちの国を去りました、そして私たちは戻ることができません。私たちの子供たちはここでこのような状態で育てられなければなりません。そして、すべての都市は空想的で、すべてです。彼らはあちこちでチャリオットレースをしています。私たちの手には、古い剪定フックと剣や物しかありません。そして、向こうにあるその偉大な軍隊、つまり反対派を見てください。彼らはとても大きいのです。なぜ、そのうちの1人が私たちの数十人を驚かせることができたのです。」

それは悪魔がそれを描く方法ではありませんか？

38 ヨシユア—彼がそこに立っているのが見えます。カレブだけが顔を明るくして、「神に栄光を。とにかくそれを取ることができます。」

「まあ、あなたはそれをどのように取るつもりですか？」

「それは私がそれを取るつもりではありません。それを理解するのは私の仕事ではありません。しかし、神はそれが私たちのものであると言われたので(右)、それは私のものです。神はそう言われました。」

ですから、今朝の癒しは私のものです。癒しはあなたのものです。救いはあなたのものです。救いは私のものです。

あなたは「私は正しい種類の生活を送ることができない」と言います。

はい、できます。神は私たちにはできると言われました。信じますよね？

「外に出て群衆と交流したり、群衆がしていることをしたりせずに、どうすればこの現在の世界に住むことができるでしょうか？」

神は私たちにはできると言われました。彼の恵みは十分です。それで解決します。それでは、締めて続けましょう。

カデシュバルネア:すべてが裁かれる裁きの席—カデシュバルネア。そして、2人だけが判決を下しました。そして、彼らはどのように彼らがそれに立っていると言いましたか？彼らの信仰は「主はこう言われる」に基づいています。それだけです。神はそれを約束されました。そしてそれだけでなく、彼らはそれを証明しました。アーメン。それがやるべきことです。アーメン。

39 さて、これの第21章...いいえ、私はそれが第19章だと思います。なんて美しい章でしょう。まず、血による裁きと言えば、憐れみによるすべての裁き...つまり、贖いがあるのです。ごめんなさい。憐れみによる贖い; 恵みによる贖い; 血による贖い; 判断による償還。そして今朝、私たちは次の数分間、神が私たちを助けてくれるなら、判断が基調となる場所に核心を置くために対処したいと思います。

さて、まず、血...贖罪をしなさい。エデンの園では、神は裁きを下す前に、順番に血を流さなければなりません。なぜなら、彼はすでに御言葉を語っていたからです。そして彼の言葉は他に何も必要としません。神は、「あなたがそれを食べる日、その日あなたは死ぬ」と言われました。

サタンがそれやイブを白塗りしたことに気づきましたか？「はい、神は言われました...しかし確かに彼はそれをそのように意味していませんでした」と言いました。

さて、それは悪魔が今日信者に言っていることではありませんか？「ああ、まあ、あなたはこれらのごをする必要はありません。」

なぜ、兄弟、あなたがクリスチャンなら、あなたはそれらをやりたいと思うでしょう。あなたはそれをしたと思うでしょう。信者が持つ最大の喜びは、彼が活着していることを知ることです...あるいは、主を喜ばせる何かをすることです。なぜ、私たちが見ているべきように主の到来を探していたのなら、なぜ、私の、どこにも摩擦はないでしょう。誰もが恋に落ち、調和が生まれるでしょう。それは素晴らしいことではないでしょうか？そして、あなたが知っている、彼は今日来るかもしれません。何が残っているのかわかりません。そうです。それは彼が来る時です。しかし、今朝私たち全員がそれを心に抱いていて、今日が最終日だったとしたらどうでしょうか。そして、私たちはそれが最後の日であったように毎日生きるべきです—これが最後の日であり、すべてが恋に落ちています。

40 時々、家から離れます。私は妻が大好きで、彼女のために何かしたいです。そして、私は彼女にキャンディーの箱か何か別のものを買います、あなたが知っている、私は彼女が私にそれをして欲しいと知っている、あなたが知っている、または彼女が私にしたい別のものを。私はそれをするのが大好きです。そして今、兄弟たち、これは少しおかしいように見えるかもしれませんが、それを言うのはあまり良い場所ではありませんが、私は彼女がいつもそれをするのは難しいことを知っている、彼女が皿を洗うのを手伝うのが好きです。そして、私はそこに出て、彼女のために皿を洗います。彼女はあまり言いませんが、私は彼女がそれを感謝していることを知っています、見てください。

なんで…？ 私はここで何を主張しようとしていますか？ 私はこれを言おうとしています。誰かがこう言うかもしれませんが、私はそれをやりたいと思っています。女性の仕事。」しかし、私は妻を愛しているので、それをするのが好きです。私は彼女が大好きです。そして、私が彼女を愛していることを彼女に知らせるために私ができることは何でも、私はそれをするのです。

まあ、同じことはすべての信者にも当てはまります。ここにいます。さて、これを深く浸してみましよう。カップを大きく開けてください。あなたが信者であり、イエスを愛しているなら、彼にあなたをもっと愛させるためにあなたができるすべてのことだけ、あなたはそれをするのが大好きです。

ここに立つてこの男に証言することで彼が私をもっと愛してくれるなら、私はそれをするのが大好きです。これらの邪悪なものを避ければ、私が誘惑されても、それらを避けるだけで私は彼を愛するようになります。そして、私は彼が愛することを知っています...私がこれをしなかった、またはそれをしなかったなら、彼は私をもう少し愛してくれると思います。私はそれをするのが大好きですよ？ 私たちは彼に恋をしているからです。

41 さて、神は、アダムとイブをとっても愛していたので、できる前に最初に血を流さなければなりませんでした…。裁きは死でした。そして彼はしなければなりませんでした...彼らの代わりに何か死ななければなりませんでした。そして、彼らは彼の前に立つことができました。

さて、そこには裁きがありました。イブは最初にサタンに耳を傾けました。そして彼はみことばを白塗りした。そして彼らはみことばを信じなかった、みことばは神の裁きとなりました。

さて、このみことば、神のことばがすべての人を裁きます。今朝ここで説教されているこの言葉。それはウォールストリートで説教されています。向こうのキリスト教教会、長老派教会で説教しました。みことばが宣べ伝えられているところはどこでも、それが裁きになります。人は神の言葉によって裁かれます。

そして、知っておくべき良いことが1つあります。それは、私たちの判断が私たちの前に行くか、私たちの後に続くかのどちらかです。

42 さて、今日ここにいるすべての人が最後に裁かれる必要はありません。彼が裁かれないのなら、彼は今朝裁かれることができます。

さて、裁きの準備が必要です。さて、神様、アダムとイブを彼の前に連れて行くために、彼は準備をしななければなりませんでした。さて、あなたが恵みを信じないなら、それは何をしましたか？ 恵みが準備をしました。ああ、それがどれほど幸せか。恵みが準備をしました。恵みは愛です。神は墮落した生き物をとっても愛していたので、裁きの前に彼らを彼の前に立つ準備をしました。神は行って羊や動物を殺し、皮をかぶせて覆い隠し、裁きの前に血を流しました。もちろん、判断は血によるものでした。そして、彼は罪のない者の血を流して、罪のある者の罪を隠しました。

43 さて、第19章で、私はそれがここで、出エジプト記、神...主が造られた...の本であると信じています。

そして主はモーセとアロンに言われた、

これは...主があなたに命じられた...律法の儀式です...イスラエルの子供たちに、彼らが私に傷のない赤い雌牛を連れてきて、傷がなく、決してくびきが来ないことを話してください。

そして、あなたがたは彼女を祭司エレアザルに渡して、野营地なしで彼女を連れ出すことができ、彼の顔の前で彼女を殺す。

そして、祭司エレアザルは指で血を取り、会衆の幕屋の直前に血を7回振りかける。

ああ、あなたが気づいたら:「赤い雌牛」。注目してください、女性であること:教会をタイプすること。赤、色。今、それを見つけることができませんでした。それは無地でなければなりません。そして、赤は常に贖いを意味します。あなたは「赤は常に危険を意味する」と言います。それは赤信号で私たちに影響を与えますが、それは常に贖いでもあります。実行しないでください。

ですから、聖書を通して赤は常にしるしでした。娼婦のラハブは、緋色の布を通してスパイを降ろしました...または、緋色の和音、それは神が彼女の家を立ったままにしたことのしるしでした。

44 さて、注目してください。この赤:この赤い雌牛は連れて来られ、エレアザールの前で殺されることになっていた。そして、彼は彼女、ひょうたん、そしてすべてを連れて行き、彼女を燃やすことになっていました。そして、彼女が死にかけている間、彼は指を取り、彼女の血に浸し、それを幕屋に振りかけ、指を血に浸し、幕屋に向かって振りかけました、そしてこれを7回行いました。7つの教会時代。それは教会です...血がまき散らされるでしょう。裁きは未経産牛に行われました。血を7回振りかけた。血の犠牲、贖罪、裁きの代わりに立つこと—7回。それから未経産牛は火の中に入れられ、灰に焼かれました。

それからいつでもそのイスラエル...それは彼らが燃やされた「分離の水」と呼ぶものを作りました。緋色、ヒソップ...そして一緒にされて、そして焼かれました、それは恵みの分配を意味しました。杉の木、ヒソップ、緋色を通して、義化、聖化、聖霊のバプテスマがすべて一緒に焼かれました。

そして、あなたが読んでいるように、これは作られました(あなたがそれを読みたいなら...時間の関係で、私はそれを読むのに時間がかかりませんが...)

45 第19章では、それは「分離の水」を作りました。誰かが何か間違ったことをした場合、または何かをした場合、この未経産牛のこれらの灰が彼の上に置かれ、彼が汚れている場合、彼は罪から分離されました。それから、これは、この未経産牛—選ばれた未経産牛、特別な未経産牛...そして血が彼と教会の間に立っていて、その灰が分離したことを知るためのすべての世代の記念としての分離の水でした彼と彼の罪の間。ああ、私の。

あなたがそれを見て、それをキリスト・イエスの上に置くとき、私たちが罪を犯したとき、私たちは分離、つまりそこでの裁きに立った彼をどのように見るのでしょうか。そして、彼の血は彼の体から浸され、地球全体に、それと神の聖なる幕屋の間に振りかけられました。彼の前に来て、ベールの肉を打ち破り、世のものを片付けているすべての信者は、血が贖いを知っています。一分離の水。

46 そして神は、憐れみによって私たちを洗い、みことばを水で洗うことによって私たちを分離し、彼の教会を世のものから分離され、神のために生きるための奉献された人生へと分離し、非難されることなくこの現在の世界を歩きました。

「それゆえ、今やキリスト・イエスにあつて、肉のあとを歩くのではなく、みことばを通して水によって分けられた者たちへの非難はありません」:聖霊によって彼らに油を注がれ、分けられた灰がまき散らされました。個人。そして、彼は聖霊による非難から解放されて、この現在の世界を歩きます。なんて美しい...彼がその人であるはずだったことを知っている—有罪。大祭司エレアザルの前で、すべての存在の前で連れ出されました。そしてそこで彼の喉は切られるべきでした、彼の体は真鍮の祭壇の上で焼かれるべきでした。

そして、これらすべてのものは彼の代わりにあるべきでした。彼は[テープを破る]べきです...天と地の間に振りかけられた血によって分離し、門を開き、キリスト・イエスにいるすべての信者は、神の御座。

教会の年齢ごとに7回、あなたはそれを振りかけるでしょう。メソジストを通して、バプテストを通して、

そこにいたすべての時代を通して、血の道は分離によってまき散らされました。

47 今、彼は、私たちがそこに来るとき、今、裁きが来なければならないと言います。だから、神は今話しています。ただ...今朝ここを飛び回ることができたらいいのに。

しかし、ここで出エジプト記でここを乗り越えましょう...つまり、ナンバーズでは第21章です。そして今、私たちは真鍮の蛇について話します。(テキストに戻って数分で終了します。急いでいる必要があるためです。)通知してください。判断。

さて、第20章では、第20章の第7節の最初だと思います。これを聞いてください:

そして主はモーセに言われた、

ロッドを取る....

ああ、私はもう少し時間を取って、ここでこの他のいくつかを読まなければなりません。いいですね。ここから20章の2節から始めましょう。

そして会衆のための水はありませんでした:そして彼らはモーセとアロンに対して彼ら自身を集めました。

そして人々はモーセに叱り(あるいは、モーセに大騒ぎし)、「私たちが兄弟たちと一緒に死んだことを神に願います...主の前に!」と言いました。

そして、なぜあなたがたは主の会衆をこの荒野に連れてきたのですか、私たちは...私たちの牛であり、そこで死ななければならないのですか?

...したがって、あなたがたは私たちをエジプトから出て来させ、私たちを連れて来させました...私たちをこの邪悪な場所に連れて来ましたか?(見てください。)それは種の場所ではありません、...(あなたが本当の信者になったとき、今では人々はあなたとあまり付き合いません。そうですか?面白い場所のようなものです。大丈夫です。)イチジクはありません、(あまり交わりはありません。誰もあなたとは何の関係も望んでいません。「彼は気が狂った。彼は夢中になっている」または「私たちは世界でこのより良い時間を過ごしました。」と言ってください。今、見てください。)いいえブドウの木の場所、...ザクロ、飲む水もありません。

48 ああ、何時。通知してください。「水の」とは、彼らが喜ぶことを意味します。「あまり喜びはありません」とあなたは言います、「ここに。私たちがする唯一のことは...私たちは日曜日にショーにこれ以上行くことはありません、そして私たちはボールゲームを見ることはなく、かつて私たちがしたすべてのことをします。ここは恐ろしい場所です。」さあ、見てください。冗談でした。

すぐそこに立ち寄ったほうがいいですね。大丈夫です。さて、私たちは今、判断を下しています。通知してください。そして主....それはそれが得る方法です、分かりますね。時々、それらの試練は私たちを試すためだけにやってくるのです。そして、「神に来るすべての息子は神から懲らしめられなければなりません。」そして、もし私たちが懲罰に耐えられないなら、私たちは非合法の子供であり、神の子供ではありません。

兄弟、キリスト教について何かがあります。人が生まれ変わるとき、それは彼を保つ何かを彼の中に入れます。彼に何かをする何かがあるだけです。私は楽しい時間を過ごすためだけにここに主の側に来たわけではありません。私は彼を愛しているのでここに来ました。そして、私は彼がその重荷を負うのを助けなければなりません。

イエスは一人で十字架を負わなければなりません

そして、世界中が自由になりますか?

みんなのための十字架があります、

私には十字架があります。

そうですか?では、クリスチャンは次の節で何を歌うべきでしょうか?

私が負うこの奉献された十字架

死ぬまで私は自由になるでしょう。

(そうです。)

それから家に帰り、冠をかぶって、

私には冠があるからです。

頭に置くだけの金の冠だけでなく、それをはるかに超えた何か。

パウロは一度それを垣間見ました。彼は言った、「目は見たことがなく、耳は聞いたことがなく、神が神を愛する人々のために神が備えておられるものを人の心にも入れなかった」。王冠ではなく、金の王冠であり、私にはあまり意味がありません。とにかく気にしません。しかし、私の冠は新しい体であり、彼に似せて冠された新しいものです。私が彼と一緒に暮らすことができる、彼自身の輝かしい体のような体。それは私にとって十分な冠です。

49 少し前に、南部の色の老人が言っていました...彼は立っていました...ある朝救われて、外に出て彼の友人にそれについてすべて話しました、そしてキリストが彼を自由にしたと言いました。そして、年老いた奴隷の運転手がやって来て、彼は言いました、「これは何ですか、サンボ、キリストがあなたを自由にしたとあなたが言うのを聞きますか？」

彼は「はい」と言いました。

「あなたはしばらくして私のオフィスに来ます」と言いました。

「サンボ、それはどういう意味ですか？」と言いました。

彼は言った、「上司、私の心を尽くして、キリストが私を罪と恥から解放したことを意味します。」

彼は言った、「まあ、もしキリストがあなたをそのために自由にしてくれたなら」と彼は言いました、「私は朝降りて書類に署名します。そして、あなたは福音を説教するための奴隷から解放されています。」

彼は福音を説教しに行きました。何年もの間、彼の白人の兄弟の多くをキリストに勝ち取った後、年老いた奴隷は横たわり、死にかけていました。そして、彼の白人の兄弟の多くは彼に会うために多くの場所からやって来ます。彼らは彼が死んだと思っていたが。そして、彼はしばらくそこに横になり、ひっくり返って見ました、そして彼は「私はまだ入っていませんか？」と言いました。「私はまだそこにいませんか？」と言いました。

「ああ、サンボ」と言いました、「あなたは今までに…？」と言いました。言いました、「あなたは入りましたか…？ 何を見ましたか？」

彼は「ああ、私はドアのそばに立っていた」と言いました。そして言いました、「天使が私のところにやって来ます。そして彼は言った、「さて、サンボ」は言った、「あなたは素晴らしい仕事をしました。来て、あなたの王冠、あなたのローブ、そしてあなたの場所を受け取ってください。」

そして彼は、「ああ、私にローブや王冠を話さないでください」と言いました。

「サンボ、何をしたいの？」と言いました。

「ここに立って彼を見させてください」と言いました。「私が今までに必要とする冠は、彼を見ることだけです。ただ私をここに百万年の間立たせて、私を罪と恥から解放して下さった主に目を向けさせてください。」

50 それが今朝のすべての信者の気持ちだと思います。私は冠をかぶるために天国に行きたくありません。ローブを着るためにそこに行きたくありません。私はそこに行き、私を愛し、私がすべて元に戻されて世の中に出て行ったときに私を贖われた彼に会いたいです。そして私を洗い、新しくし、彼の前で私を新しい生き物にしました。それが私が見に行きたい人です。私は彼に会いたいです。私はこの場所にザクロがあるかどうか、良い時期があるかどうか、飢餓があるかどうか、あるかどうかは気にしません。それが何であれ、キリスト・イエスにある神の愛から私たちを切り離すことができるものは何もありません。それは今朝の判断、人々がすることだと思います。

そして、覚えておいてください、友達、今朝あなたがそれを持つことができる唯一の方法：誰かがあなたの代わりに立っていました。「神は彼が与えた世界をととても愛していた……」—彼の偉大な裁きのすべてを彼に委ねました。

51 彼が岩の前に彼らと呼んだとき、その岩を見てください。彼らは岩を撃ちました、そして、それは側面に裂け目を持っていました。さて、モーセの手にあったその棒はモーセの棒ではありませんでした。それが神の杖でした。それは神の裁きの杖でした。

彼がその棒でイスラエルをどのように裁いたかを見てください。彼はそこに出てきて、モーセは棒を差し出しました—ハエが来ました。彼はロッドを差し出しました—沸騰が来ました。そして、その裁き棒のために、裁きがエジプトに注がれました。それは神の裁きが棒の中にあったということでした。

そして、気づいてください。その判断は、干ばつが岩を襲ったとき、岩に裂け目がありました。そして、その岩はキリスト・イエスでした。そして、あなたが受けるべきすべての裁き、今朝あなた方すべての信者、あなたが持っているべきすべての裁き、すべての非難、すべてが去る、あなたがしたすべての不快感、神の内に彼の愛は彼の息子であるキリスト・イエスのすべての人々を襲いました。

そして、彼は岩がそうであったように側面で打たれました。

52 そして岩から水が出てきました。そして、喉の渇きで死にかけていた死にゆく人々は、モーセの裁きの杖が...あるいは、モーセの手にある神の裁きの杖が岩の側に降ろされて、死にゆく会衆に命をもたらしたために生きました。

今朝、なんて美しい成就でしょう。「神は世をととても愛していたので(不敬虔な、不愛らしい)、彼の独り子を与えたので、彼を信じるべき者は誰でも滅びることはありません。」

しかし、裁き...私は罪人を死なせるべきでした。あなたは罪人を死なせるべきだったのです。私たちは天国にふさわしくありません。そして、私たちにふさわしいものを私たちにできることは何もありません。私たちが彼をどのように扱ったかを見てください。今朝はちょっと恥ずかしくないですか？ 私はそうです。私たちが彼を扱った方法...それでも、神は彼の憐れみの中で私の罪をすべて取り、彼の息子にそれらを置きました、そしてそこで裁きは彼の側を2つにスライスし、王冠を彼の頭の上に引き出しました、そして涙、唾、そしてすべてが彼の側に流れ落ちました。彼はあなたと私が裁きに立つ必要がないという代償を払った。

53 私はその小さな歌について考えます：

おお、なんて尊い父を愛しておられるのか

アダムの墮落したレースのために持っていました。

彼の一人息子に苦しみを与えた

そして、彼の恵みによって私たちに贖ってください。

彼がカルバリー山にぶら下がっているのを見てください

苦しみに苦しんでいる、

泣いて、「ええ、ええ、父よ、

なぜあなたは私を見捨てたのですか？」

人生で見捨てられ、死で見捨てられ、神の怒りがすべて神に注がれ、神は私たちの裁きに耐えられました。そして、彼は私たちの判断を取り、それを超えた地域の孤立した場所に退屈させました。そして、神の律法は非難し、のろわれたものを置きました、そして彼はそこで私たちの罪を取りました。そして私たちの正当化のためにイースターの朝に再び復活しました。今、世界で失われたすべての罪人を救うために聖霊の人の中に立ってください。

祈りましょう。

54 天のお父様、そのことを考えると、私の心はただ私の中で向きを変えます。神よ、また、そこにあるすべての不敬虔なものから私の心を振り返らせてください。私があなたに仕えるために。ここにいるすべての人

に同じ特権を与えてください。今朝ここにいるが、まだ正確にクリスチャンであるとは感じていない人たちです。彼らはそれと一緒に遊んだだけで、ああ、彼らはそれに何かがあるという考えを持っていましたが、それでも彼らの人生をあなたに明け渡したことはありませんでした。

主よ、この時、彼らがみことばによって今すぐあなたに身をゆだねることを認めてください。「信仰は、みことばを聞くことによって来るのです。」キリストが裁きを下されたことを彼らが知った今、彼らがしなければならないのは、今心の中で罪を告白し、「主よ、罪人である私を憐れんでください」と言うことだけです。そして、あなたは、彼らが恨みを持っていたとしても、利己的であったとしても、あるいは彼らは何らかの方法で罪を犯したことを間違ったことをしたとしても、謙虚にそして優しくすべての人を許します、父よ、あなたはちょうどこの時に彼らを許します。

そして、この日から、彼らがあなたが言ったことに彼らの希望と信仰を集中させますように。私たちはヨシュアとカレブが好きで、いつかその土地、つまり不死を所有するかもしれません。あなたの息子を通してそれを与えてください。

55 私たちは頭を下げていますが、これはあなたと私と神との間のほんの少しの秘密の事柄です。

すべての頭がお辞儀をし、すべての目を閉じている間に、誰かがあなたの手を上げて「ビリー、私を覚えている」と言うだけなのだろうか。神はあなたを祝福します、兄弟。神はあなたを祝福します、姉妹。あなた、兄弟、神はあなたを祝福します。

ああ、神様、そこを見下ろしてください、父よ。それらのかわいそうな子供たちの手を見てください。彼らはあなたを愛しています。彼らは私たち全員のようなアダムの子供たちです。主よ、彼らは人生がほんの少しの浮き沈みであることを理解していますが、彼らは今イエスを受け入れたいと思っています。彼らは心の奥底からそれをやりたいのです。彼らはあなたの言葉以外には何もしません。あなたが言ったのは、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持つ」からです。

今すぐ彼らを救い、上がっていた多くの、多くの手から彼らの罪をすべて取り除いてください。この日から、彼らが今、新たにあなたに新たに奉献しますように。あなたはすべてを知っています。あなたは心の秘密を知っています。そして、私はここにいるすべての人が今、彼らの誓いを真実で更新することを祈ります。

父よ、あなたの謙遜な僕として、あなたが私に人々と分かち合うことを許して下さった祝福にふさわしくないで、私は私の人生で多くの多くの過ちを犯してしまったことをとても残念に思います。そして、父よ、今朝、私はあなたに、今、畑に出て、あなたの意志に反していると私が思ったすべてを脇に置いて、新たに始めるようにお願いします。

そして、神様、あなたと一緒に一人で行くように、あなたが私を助け、私を導いてくださるよう祈ります。そして私は、主よ、あなたとあなたの奉仕に、あなたがしもべ主の命から栄光を得るように、私自身を奉献します。私が残した時間は、あなたの栄光になりますように。父よ、私のすべての過ちとすべての罪と過ちを許してください。

そして今朝、この人々の罪と過ちのためにも祈ります。今日、私たちが神の家で新たに誓いを立てたことを思い出しますように。イエスの愛する御名によってそれを求めているからです。アーメン。

56 私がしたい小さな歌があります...あなたがそうするなら、あなたは皆私と一緒に歌います。あなた方の多くはそれを覚えています。「私は通り抜けています。」それが歌われるのを聞いたことがありますか？ 大丈夫です。できれば音楽がなくても一緒に歌いましょう。今：

私は経験しています、はい、私は経験しています。

他の人がすることは何でも私が代金を払います。

私は主の軽蔑された少数の人々と共に道を歩みます。

私はあなたから始めました、イエス様、私は通り抜けていきます。

「主よ、これが私の手です。私はそれを意味します。あなたの恵みによって、私は通り抜けるつもりです。」? 神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。そして、私はあなたがあなたの心からそれを意味していることを知っています。そして今、すべての小さなことを脇に置いておきましょう、そして今日から...

「主よ、私はあなたに特別なものを与えて欲しいのです。私がいる唯一のこと、主よ、私はあなたの言葉にいます、主よ、私は来ています。ここにいます。私はあなたと一緒にいきます。」

主はあなたを祝福します。

57 さて、私は今、私たちは持っているつもりだと思います...私たちが変わる前に、彼らの体の病気のために祈るためにここに何かありますか？ 祈る人がいたら、手を挙げてみましょう。それは問題ありません。私たちがそれをする直前に、私がそれを忘れる前に、私は今信じています... [ブラザー・ブラナムは脇に話します、「あなたは何か報告することができますか？ 何か報告はありますか？」]

大丈夫です。次は、日曜学校の献金だと思います。私はそれを忘れました。長老たちは前に出ますか？ テディ、息子さん、ピアノのところに行き、この時期に日曜学校の供物のために長老たちを前に出させてください。その後、すぐにヒーリングサービスをご利用いただけます。そして、さて、ちょっと頭を下げましょう。

私たちの親切な天の父よ、あなたはみことばの中で私たちに教えてくださいました。週の最初の日、私たちが集まるとき、私たちは自分の胸腺と供物をその場所、あなたの家に持ち込むべきだと。そして、私たちはこのように崇拝する特権をあなたに感謝します。それはとても小さな方法です。しかし、父よ、私たちはあなたに感謝し、感謝の気持ちを込めて今朝与えに来ます。

与えなければならない、与えるすべての人を祝福してください。そして、与えるべきこれらの天然物質を持っていない人々を祝福してください。私たちは、あなたがあなたの管理人として、彼らに多くの天然物質を与えてくれることを祈ります。それが正しいことに使われるように、正しい方法でそれを見守るのを手伝ってください。これをキリストの御名によって、あなたの御子にお願いします。アーメン。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7